

第2回伊予市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定審議会会議録

日 時：平成29年10月11日（水） 午後1時30分～午後2時30分

場 所：伊予市役所4階大会議室

出席者：稲田貫委員、佐々木典彦委員、徳永眞太郎委員、池田育生委員、西本直樹委員、上本昌幸委員、西田孝博委員、岡本正満委員、重松安晴委員、高岡智子委員、山先森繁副市長、武智茂記市民福祉部長

事務局 室、野間、福積、戸谷、木下（長寿介護課）

委託業者（ジェイエムシー株式会社）桧垣、平岡

欠席者：柳澤勘一郎委員、窪田里美委員、井窪京子委員、亀岡徳江委員

傍聴者：なし

1. 開会

○あいさつ 上本会長

2. 議事

①高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画の骨子案について（資料1）

②高齢者等に関する現状について（資料2）

③施策の展開について（資料3）

午後1時30分 開会

○事務局 傍聴者の募集の報告と欠席委員の報告。

○事務局 議題1 ①高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画の骨子案について資料1に基づき説明。

○会長 ありがとうございます。これが今回の計画の全体像となります。ご質問がなければ、この内容で進めていくことになります。骨子案について承認いただけますか。
（拍手で承認）

続いて、議題2 高齢者等に関する現状について、事務局説明をお願いします。

○事務局 議題2 ②高齢者等に関する現状について資料2に基づき説明。

会長 ありがとうございました。今の説明にご質問はありませんか。いろいろな役所で使う用語や福祉用語もあるので、分かりにくいことがあれば質問してください。どんなところからでも構いません。この資料ではこれまでの様子が出ています。これからどうするかは次の段階になります。過去の様子について質問があれば出してください。

委員 13ページの説明が少し分かりにくかったのでお聞きします。計画値と給付実績が大幅に違っているのは、どういうことかもう一度説明していただけますか。

事務局 13ページは、地域密着型介護予防サービスの要支援の方の計画値と実績値です。平成28年度のグループホームで要支援者の利用を2、3人と見込んでいたのが予想より

も利用が多く、実績が大きく上回りました。要介護者と合わせた全体では、給付実績は計画値内に収まっています。

会長 今の説明でよろしいでしょうか。

委員 説明を補足すると、介護保険のサービスには、伊予市の人しか使えないサービスと市外の人でも使えるサービスと2通りあります。伊予市以外の人ができるサービスでは、特別養護老人ホームなどの施設系のサービスは、伊予市以外の人でも使えます。この地域密着型サービスは伊予市の人しか使えないサービスです。それから介護保険サービスは、要介護1～5までの人が使えるサービスと、要支援1～2の人が使えるサービスに分かれています。「予防」というのは要支援1～2の人が使えるサービスです。つまり、市内の人しか使えないサービスと市外の人でも使えるサービスがそれぞれ要介護の人のサービスと要支援の人のサービスとあって、4種類に分かれています。そのなかで、このグループホームは、伊予市の人しか使えないサービスであって、要介護の人のサービスと要支援の人のサービスがあるということです。その要支援の人の実績は計画より多かったけれど、要介護の人の実績と合わせると全体では計画内に収まっていたということです。

本来なら、そこも予想しないといけないところでしょうか、全体としての金額は合っているということです。

会長 普段聞いていてもつかみにくいところがあるので、細かく教えていただいて、ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

委員 総論としては、平成27年度、28年度は予定通りだったと理解してよろしいですか。

事務局 一部とびぬけたところもありますが、理由が思い当たるところもありますので、計画値の範囲内で予定通りと考えています。

委員 重ねてお聞きすると、実績としては概ね計画通りであり、将来の人口見通しとしては、高齢化率が上がるものの、とびぬけた変化は見られない、ということでしょうか。

事務局 高齢化率があがって、利用率や給付が増えるかと思っていましたが、計画の範囲内で収まっています。窓口では申請者が増加していると感じていますので、平成29年度の実績はもう少し多くなるかもしれませんが、平均すると、概ね計画値の平均内で収まると考えています。

委員 よく皆さんが勘違いするのは、高齢化率が上がっていくから大変だと、サービスを増やせとなりますが、総人口が減っているのです。高齢化率が上がっていても高齢者人口は横ばいです。ポイントは認定者数がどれだけ増えて、どれだけサービスを使うと予測されるかということです。

事務局 ご意見ありがとうございます。

委員 決して施設の待機者数で判断しないでください。

会長 ほぼ想定通りに進んでいるということです。他にありませんか。

ないようでしたら、議題2については承認いただいたということでもよろしいでしょうか。次に、議題3 施策の展開について、事務局説明をお願いします。

事務局 議題3 施策の展開について資料3に基づき説明。

会長 非常にたくさんあるので、事業の名前や複雑な福祉の活動ですが、分かりにくい言葉などでも構わないので、ご質問を頂戴します。

委員 34ページの介護予防施設送迎サービスが終了とのことですが、市の福祉バスは続けるのでしょうか

事務局 介護予防施設送迎サービス事業は、地域に公共交通が整備されたら終了することを前提に実施していたサービスです。中山・双海地区には介護タクシーが、伊予地区にはコミュニティバスが整備されましたので、整備から1年後の平成28年度末に終了しました。今は、それぞれの利用啓発を図っているところです。

会長 分かりやすい模様替えしたバスが走っております。まだまだ利用者が少ないようですが、どんどんPRして使っていただきたいと思います。他にありませんか。

委員 先ほど、送迎サービスが終了したということですが、ここに列举されているサービスは、効果が見込めない、参加者が少ないということであれば、廃止も可能ですか。

事務局 介護保険サービスは国で決められたサービスなので、利用者の有無にかかわらず実施する必要がありますが、33ページ以降の福祉のまちづくりの事業は、市の独自事業として、市の判断により一定の方向性をもって実施する事業ですので、利用状況によっては、その効果や他のサービスと勘案して方向転換を図ることは今後もあります。

委員 例えば、22ページのエ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業のなかで、介護支援専門員連絡会の開催回数が挙げられていますが、参加者数にも踏み込んで調査されると効果が検証しやすいと考えます。また、25ページのエ) 認知症初期症状スクリーニングシステム運用のサイト別アクセス数は、トップページのアクセス数かそれとも診断まで行った人のアクセス数でしょうか。1日平均11件というのは、一般的にみるとかなり少ない数です。他に民間のもっと充実したサイトがたくさんあるので、維持費がかかるのなら費用対効果は低いのではないかと思います。

会長 介護支援専門員連絡会の件と、サイトアクセス数について事務局いかがですか。

事務局 介護支援専門員連絡会の参加者数は、平成28年度の参加人数は22ページに掲載していますが、平成27年度も平成28年度とほぼ同じ人数で各回約40人です。

委員 会場の広さからみてマックスの人数ですか、あるいは市内の介護支援専門員数の何%くらいですか。

事務局 テーマによって異なりますが、約7割です。

事務局 25ページのアクセス数は、最後までたどり着いた件数です。診断結果も報告されるようになっていきますので、診断まで行った人の件数です。言われるように、年々アクセス数が減少していますので、今後検討していきたいと思います。

委員 システムの維持費はかかっているのですか。

事務局 システム利用の年間契約で費用が発生しています。

委員 民間サービスに任せてもよいのではないのでしょうか。

会長 他にありませんか。今回は実績報告がほとんどでしたが、今回は7期計画の内容が出るのでしょうか。

- 事務局 12月中旬には、それぞれの事業について今後の展開の方向を提示します。
- 会長 いま載せているものは全部載ってくるということでしょうか。
- 事務局 一部の廃止する事業を除いて計画に記載します。
- 会長 他にないようですので、議題3を終了します。何かあれば事務局に問い合わせてください。最後に全体を通して、副会長からお願いします。
- 副会長 私は、老人クラブの立場で出席しております。いま伊予市では、高齢者の支援を積極的にされていて素晴らしいと思います。体操クラブや他のクラブがたくさんできています。サロンもあります。老人クラブでは準会員が55歳から、会員は60歳からで、ここにも書いてあるように66団体、2,986人ですが、最近は老人クラブに入る必要がなくなったと思われる傾向があります。市内にいろいろな団体が増えてきて、例えば、タオル体操の会、健康体操の会、各地域でサロンなど、いろんな会ができて、老人クラブは何をするか、となっています。新しい団体ができるたびに不安になります。毎年会員が減っていくのです。老人クラブは苦しいですが、無くしてはならない団体です。少ない人数でも補助金があるものなのかとも思いますが、老人クラブは危機的な状況だということを理解してもらいたいです。
- 会長 老人クラブの会員が少なくなっているので、PRしてほしいということです。では、このあとのスケジュールの説明をお願いします。
- 事務局 今回は施策の展開、事業量推計、給付費の見込みを中心に進めてまいります。開催日は12月中旬を予定していますので、決まりましたら文書で通知させていただきます。
- 会長 これで議事のほうをすべて終わらせていただきます。議事進行にご協力ありがとうございました。
- 事務局 本日はこれで閉会させていただきます。

午後2時30分 閉会